

第1学年道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)
授業者 〇 〇 〇 〇

1 主題名

自分で判断し、行動すること 「A-(1) 自主、自律、自由と責任」

2 ねらいと教材

(1) ねらい

自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任を持つようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

(2) 教材名

「スイッチ」 (文部科学省 中学校道徳 読み物資料集)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

自律とは、他者の考えに依存するのではなく、自分の内面に善悪を判断する規律を作ることである。自主とは、いくつかの選択肢の中から良心に基づいて判断した事柄を周囲に対して発揮しようと決定することである。自律と自主は一体的に捉えることができる。

よりよく生きるためには、自分の行為は、全て自分の意志で決定したものであることを自覚する必要がある。また、自分が行動した結果に対して責任を持つことも大切である。そこで、自分で判断し、行動することについて考えを深めさせることで、自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任を持つようとする態度を育むことができると考える。

(2) 生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

本学級の生徒は、これまでの学校生活を通して、自律の精神を重んじることや自主的に考えることの大切さについて理解している。しかし、普段の生活場面では、すぐに人に頼ってしまうなど、他者の考えに依存して行動してしまう生徒が多い。そのため、自分の行動の結果に対して、無責任な様子が見られることもある。生徒の実態を踏まえると、「自主、自律、自由と責任」という道徳的価値について、自律した精神を重んじ、自主的に判断し、行動しようとする自分とそうでいていない自分との葛藤から生じる問題があると考えられる。

そこで、授業を通して、自分で判断して、行動し、その行動の結果に責任を持つようとする道徳的実践意欲と態度を育てていきたい。

(3) 使用する教材の特質やそれを生かす具体的な活用方法

本教材は、顧問の教師が病気のために不在となった卓球部で、新チームのキャプテンを任された中学生の絵里の話である。絵里は、顧問が過去に行った練習メニューの通りに、練習の指示を出すのが、後輩から不満の声が出る等、部の運営に行き詰まってしまう。絵里と部員の由美が、顧問の教師を頼るために病室を訪れると、ライバル校の監督が見舞いにきていた。顧問の教師に悩みを打ち明けられずにいる絵里と由美に対して、ライバル校の監督は「今、君たちは試されているんだよ」と声を掛ける。ライバル校の監督の言葉を受けて、自分で判断し、行動することの大切さに気付いた絵里は、病院の玄関を出たところで立ち止まり、由美に「明日から私たち、スイッチ切り替えよう!」と声を掛ける。

本時の指導に当たっては、授業当日の朝、生徒に教材を読ませておき、内容を理解させておくことで、授業中の考える時間を確保する。授業では、絵里が「明日から私たち、スイッチ切り替えよう!」と由美に声を掛け、自分で判断し、行動しようとする場面を中心場面に設定する。「今、君たちは試されているんだよ」と声を掛けられたときの絵里の気持ちを、自分との関わりで考えさせながら、自分で判断し、行動することや自分の行動に責任を持つことの大切さに気付かせたい。

4 学習指導過程

	学習活動 ○主な発問 (◎中心発問) ・予想される反応	指導上の留意点
導入 5分	<p>1 本時のねらいとする道徳的価値について問題意識を持つ。</p> <p>○ 学習方法や進路、職業等、様々な場面で選択を迫られることがあります。ある事柄について選択を迫られたとします。4つの選択肢のうち、あなたがよいと思う順番に並べ替えてください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 自分で決めて、うまくいった。 2 自分で決めたが、うまくいかなかった。 3 人の言うとおりにして、うまくいった。 4 人の言うとおりにしたが、うまくいかなかった。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1, 2, 3, 4の順番です。 ・ 1, 3, 2, 4の順番です。 ・ 1, 2と3は同じくらい、4の順番です。 ・ 1と2は同じくらい、3, 4の順番です。 <p>◎ 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分で判断し、行動することについて考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ねらいとする道徳的価値についての実態を再確認するために、自律の精神を重んじることや自分の行動の結果に対して責任を持つことについて考えさせる。 ・ 多様な生徒の考えを引き出すために、「同じくらい良いと思う」選択肢があれば、ひとまとまりと考えてよいことを伝える。 ・ 生徒がどのような基準で自分の行動を選択しているのかに気付かせるために、生徒から出された考えの傾向を全体で確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で決めるということを大切にしている人が多いですね。 ・ 結果を大切にしている人が多いですね。 </div> <p>課題をつかませるために、実際の生活場面では、自分が選択した行動に伴う結果を知ることができないことを確認する。</p>
展開 37分	<p>3 自分で判断し、行動することについて、自己を見つめ、多面的・多角的に考える。</p> <p>○ 「いいの。これが城南の練習なんだから」と答えたときの絵里は、どのような気持ちだったと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 坂ノートの通りに練習しているのだから大丈夫という気持ちです。 ・ キャプテンとして、みんなを引っ張らなければならないという気持ちです。 ・ 不安な気持ちです。 ・ 顧問の先生に早く戻ってきてほしいという気持ちです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が、教材の内容をより理解できるようにするために、範読前に教材中のキーワードを使って、教材の内容を確認する。 ・ 主人公の心情について考えさせるために、範読を聞くときの視点を与える。 ・ 絵里が、キャプテンとしてどのような行動を取るべきか悩んでいる心情に共感させるために、練習に不安を感じている絵里の心情について考えさせる。 ・ 練習に不安を感じている絵里の心情を表面的に読み取り、自分との関わりで考えることができていない学習状況が見られるときの問い返しの発問 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなは、このような絵里の気持ちを理解できますか。 ・ みんなの気持ちは、この中のどれに近いですか。 ・ どうして坂ノートのメニュー通りに練習しようと考えたと思いますか。 </div>

- 「今、君たちは試されているんだよ」と言われた絵里は、どのようなことを考えていたと思いますか。
- ・坂先生に相談するか、坂先生を頼らずに自分たちの力で練習するかを試されていると考えていました。
- ・坂先生を頼らずに、自分たちの力で練習をしなければならぬと考えていました。
- ・坂先生がいない状況で、部員をまとめることができるのだろうかと考えていました。
- ・どう行動したらよいのか悩んでいると思います。

多

自

◎ 「スイッチ切り替えよう！」と言った絵里の中には、どのような心があったと思いますか。

- ・自分を信じる心や勇気があったと思います。
- ・仲間を信じる心があったと思います。
- ・応援してくれる家族や先生の支えを感じる心があったと思います。
- ・勝ちたいという気持ちがあったと思います。

・坂ノートのメニュー通りに練習して、3年生は負けてしまいましたが、それでも坂ノートのメニュー通りに練習した方がよいと思いますか。

- ・自分がどのような行動を取るべきかを判断し、自主的に行動しようとする絵里の心情に共感させるために、ライバル校の監督に声を掛けられたときの絵里の心情について考えさせる。
- ・ライバル校の監督に声を掛けられたときの絵里の心情を表面的に読み取っている学習状況や自分の行動に伴う結果について考えることができていない学習状況が見られるときの問い返しの発問

・「君たちは試されている」とはどういうことですか。

部員はキャプテンにどのような行動を取ってほしいと考えていると思いますか。

・坂先生はどのようなことを考えていたと思いますか。

自分だったら坂先生に相談しますか。相談しませんか。

・相談しないと問題は解決できないということですか。

・相談することはダメなことですか。

・自律の精神を重んじ、自分で判断し、行動することの大切さに気付かせるために、「スイッチ切り替えよう」と言った絵里の中にあつた心について考えさせる。

・「スイッチ切り替えよう」と言った絵里の心の奥底にある道徳的価値について考えを深めさせるための問い返しの発問

・仲間（坂先生）に対しては、どのような心があったと思いますか。

・もし、絵里がこの後の大会で負けてしまったら、坂先生に相談しなかったことを後悔すると思いますか。後悔しないと思いますか。

・絵里の中にある自分や仲間を信じる心はもともとあつたものですか。ライバル校の監督の言葉によって、新たに生まれたものですか。

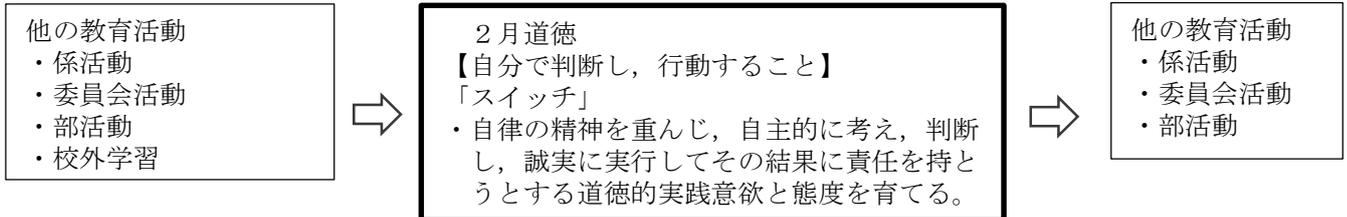
・絵里の中にある自分や仲間を信じる心はみなさんの中にもありますか。

生 終 末 8 分	<p>4 自己の生き方について考える。</p> <p>→ 自分で判断し、行動することについて、分かったこと、友達の考えを聞いていいなと思ったこと、これからの生活に生かしていきたいことについて書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で判断し、行動することは、難しいけれど、人に頼るより自分で判断して行動した方が、自分が成長できると思いました。 ・自分を応援してくれる人はたくさんいるけれど、周りに頼るのではなく、自分で判断し、行動できる人になりたいです。 ・自分の行動によって、よい結果が出るか、よくない結果が出るかは分からないけれど、自分を信じて行動していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の生き方について考えを深めさせるために、書く活動を取り入れる。 ・自己の考えの深まりや変化に気付かせるために、導入の選択問題に触れ、導入時の自分の考えと比較する視点を与える。
------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価】

自分で判断して、行動し、その結果に責任を持つことについて、自分との関わりの中で考える学習を通して、これからの生き方に生かそうとしていたか。

5 他の教育活動との関連

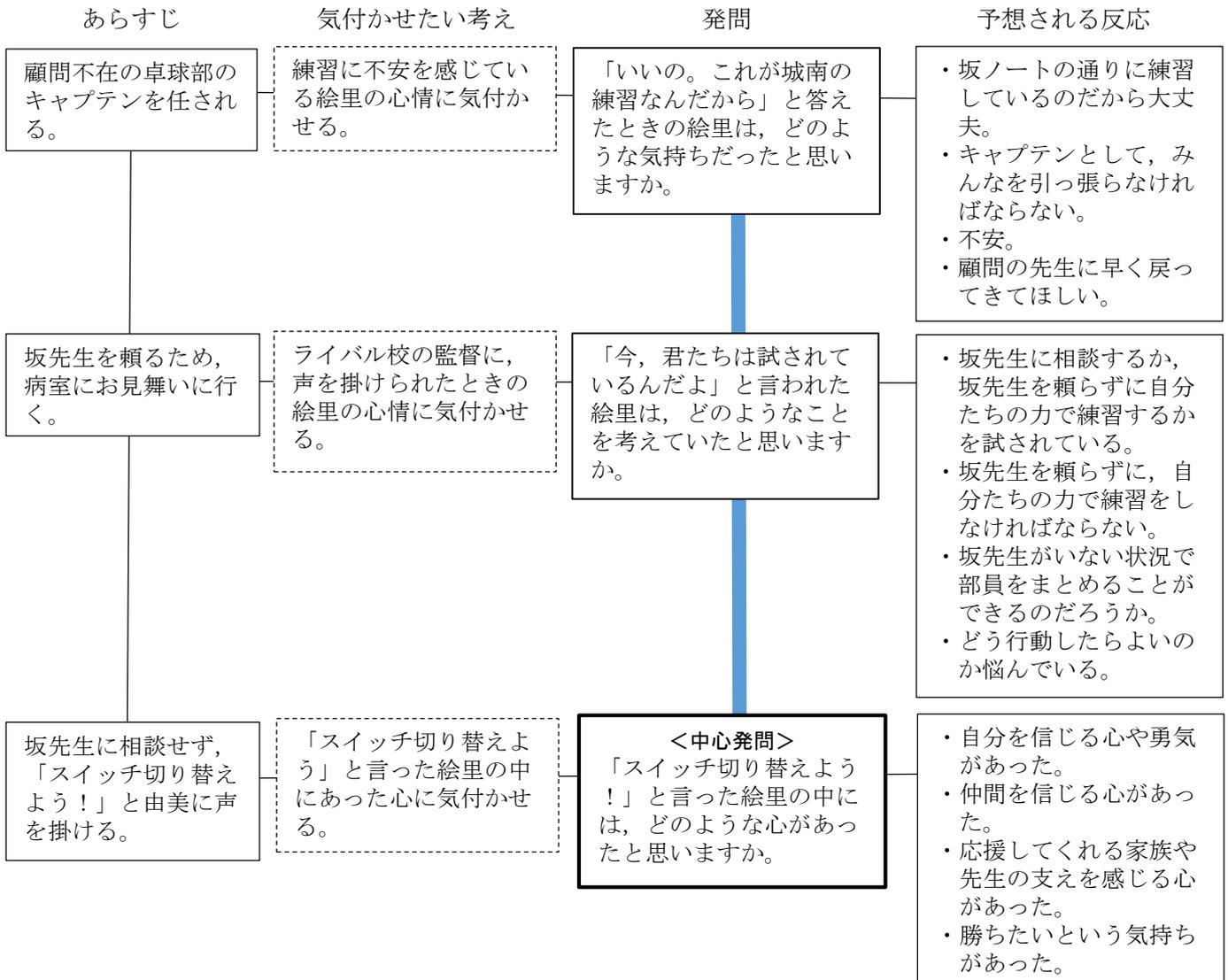


6 補充・深化・統合の視点【深化】

「自分で判断し、行動すること」という道徳的価値について、生徒は、係活動や委員会活動等、これまでの学校生活を通して学んできている。

本時は、生徒の実態を踏まえ、自分で判断し、行動することについて考えさせるだけでなく、その行動の結果に責任を持つことの大切さについて気付かせる授業である。自己の行動の結果に責任を持つことの大切さについて考えることで、失敗も含めて自己の責任において結果を受け止めることができるようになり、よりよい生き方を追求していくことにつながる。「自分で判断し、行動する」という道徳的価値について、生徒の考えを、本時の授業を通してより一層深めていきたい。

7 教材分析・発問構成



8 準備物

教師：教科書，挿絵，学習プリント

生徒：筆記用具

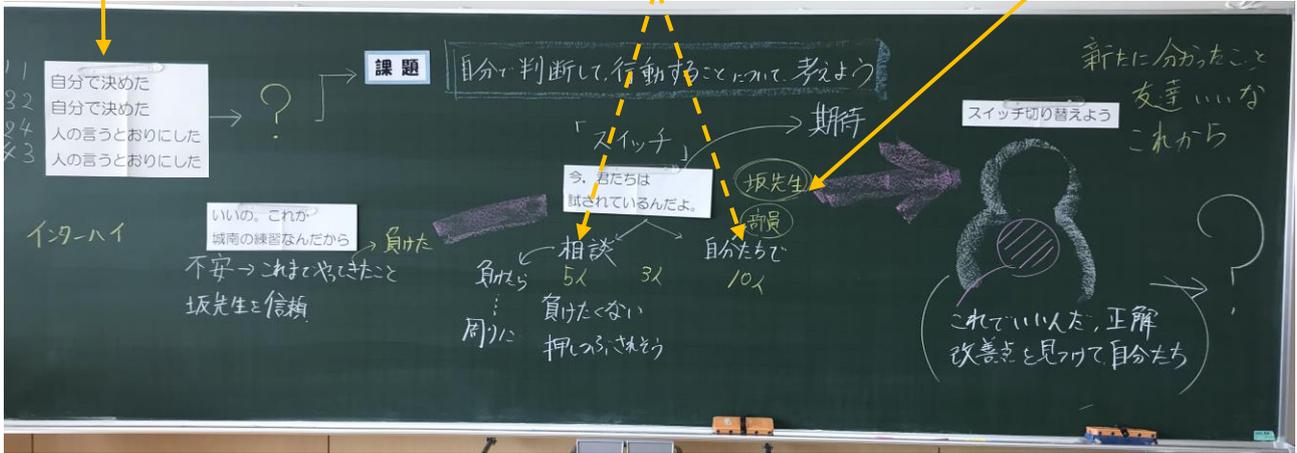
9 実践の記録 (○成果, ●課題)

【板書】

①ねらいとする道徳的価値に関する生徒の実態を把握するために選択式の問いを提示した。

②「自分だったら坂先生に相談するか」という問いに対して挙手をさせ、それぞれの根拠となる考えについて発表させた。

③主人公以外の坂先生、部員の考えはどこに位置付くのかを考えさせ、板書した。



(1) 導入

授業開始時に、ねらいとする道徳的価値に関する生徒の考えを発表させた

○ 「自分で判断し、行動することについて考えよう」という本時の課題につなげるために、導入では選択形式の問いを設定した。以下に、実際の生徒との対話の記録を紹介する。

生徒との対話記録

T 自分がよいと考える順に、4つの選択肢に順番を付けてください。

S 上から1, 2, 3, 4です。1, 3, 2, 4です。1, 1, 1, 4です。

T 「自分で決めて、うまくいった」という選択肢が1番よいと考えている人が多いですね。

けれど、実際の生活場面を考えると、自分で決めたとしても、人の言うとおりにしたとしても、その結果、うまくいくかどうかは分かりませんよね。だからこそ、どうしたらよいか迷うことってたくさんありますよね。今日は、そのことを踏まえて、自分で判断し、行動することについて、一緒に考えていきましょう。

※ 課題を提示

選択形式の問いを設定したことで、生徒も問いに対して答えやすい様子だった。また、短い時間でペア学習を取り入れ、自分と同じ考えや違う考えの生徒を見つけ、興味・関心が高まっている様子がうかがえた。実際の生活場面では、自分で決める、人の言うとおりにするのどちらを選択してもうまくいくかどうかは分からないということに共感させることで、本時のねらいとする道徳的価値に関する問題意識を持たせることができた。

(2) 展開

生徒が考える時間を確保した

● 1回目の実践では「いいの。これが城南の練習なんだから」と言ったときの絵里の気持ちや「今、君たちは試されているんだよ」と言われたときの絵里の考えについて、時間を取って考えさせていた。しかし、予定以上に時間が掛かり、中心発問で生徒が考える時間を十分に確保できなかった。2回目の実践では、上記の発問に掛ける時間を減らし、中心発問に時間を掛けた。その結果、2回目の実践では、生徒がねらいに迫る考えを持つことができたのではないかと感じた。

生徒の考えを深めさせるために、問い返しをした。

- 中心発問では、『「スイッチ切り替えよう」と言った絵里の中には、どのような心があったのか』ということについて考えさせた。生徒からは「自分で決めたことだから、これが正解だ」「坂先生の練習で先輩たちは負けてしまっているので、自分たちで改善点を見つけていこう」「『試されているよ』の言葉には、自分たちに対する期待も込められているから、それに応えよう」「もっと成長しようという気持ちがあった」という考えが出された。さらに、自分で判断し、行動するだけでなく、その行動に責任を持つことについて考えさせるために、「もし、スイッチを切り替えた後、思うような結果が出なかったら、坂先生に相談しなかったことを後悔すると思うか」という問い返しを準備した。生徒からは「相談したからと言って勝てる保証があったわけではない。自分で決めて、自分が部員に示した道であり、胸を張ってこれでよかったと思える判断をしたので、負けてしまっても、これからどうしたらよいかをちゃんと考えられる判断を下したと思う」という考えが出された。また、生徒の記述には「改めて考えてみて、私は後悔が大きいかなと思い、自分の本当の気持ちに気付いた」という記述もあった。問い返しを通して、後悔するかどうかではなく、自分で判断し、行動した結果に対して責任を持つことについて考えさせることができた。

(3) 終末

自己の生き方について考えを深めさせるために書く活動を取り入れた

「自分で判断し、行動することについて考えよう」という課題について、自分の考えを書かせた。以下に、生徒の考えを紹介する。

生徒の感想（1回目の実践）

- ・何事にも、自分で行動することによって、自信が付くと思った。
- ・私は誰かの言うとおりにするのが嫌いで、相談することもどちらかという嫌いだ。けれど、今日の授業で、自分で決めて動くことも大事だけれど、誰かに相談することもよいということが分かった。
- ・私は自分で判断することは難しいと思った。自分で判断しても、どれが正解かは分からないけれど、積極的にいろいろなことに挑戦したいと思った。
- ・もし、これから先に部活動のこととか、いろいろなことで悩んだときに、まず、自分なりに考えてみようと思った。誰かに頼ることもよいけれど、自分自身を成長させるためには、自分で考えて、自分で解決するのもいいなと思った。

生徒の感想（2回目の実践）

- ・最初は坂先生に相談するという一択だったけれど、みんなの考えを聞いているうちに自分で考えてからでもよいなどだんだん考えが変わってきた。
- ・人に頼り過ぎても、自分に対して成長を感じられるわけではないので、自分で考えて行動した結果、失敗してもこれからは生かせる経験になるということが新しく分かった。
- ・私は結果がよいことが最も大切だと思う。けれど、自分の考えを持ち、人に頼ることは嫌だという友達を少しうらやましく思った。自分の考えを一番に持てる友達はとてもかっこいいと思った。これからは利益、不利益かより先に、自分の意見を持つことも大切にしたい。
- ・友達の考えを聞き、勝ちを求めるために相談してもよいと思った。けれど、それだけでは自分の力にはならないから自分で考えて行動することも大切だと思った。
- ・私は、自分で考えて行動するということはすごく大変なことだと思った。けれど、その結果がどうであっても全く後悔しないと思う。自分がたくさん時間を掛けて考えたことであれば、もうそのときに成功していると思う。